



# 日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

# 2025年度 春季大会

2025年5月10日(土)・11日(日) 名古屋大学

5月10日(土)

口頭発表		A会場 (全学教育棟 C-13)		B会場 (全学教育棟 C-15)		C会場 (全学教育棟 C-23)		D会場 (全学教育棟 C-25)	
司会(補助)		太田 陽子 (堤 良一)		坂井 美日 (久保蘭 愛)		鴻野 知暁 (佐伯 暁子)		中川 奈津子 (小川 晋史)	
セッション1	13:30   14:10	A-1	思考動詞と共起する「NPのこと」の使用メカニズム —「考える」を手掛かりに—  徐 筱琦 (関西学院大学学生)	B-1	中古和文資料における地の文の連体形終止  泉 沙希 (筑波大学学生)	C-1	『清議報』日本語翻訳記事から見た「国民」「人民」の中国への伝播  古谷 創 (明治大学学生)	D-1	作文からみる中学生のジェンダー意識の変遷  加藤 恵梨 (愛知教育大学) 角谷 昌範 (碧南市立大浜小学校)
	14:20   15:00	A-2	形容詞語幹を語基とする複合・派生に着目したコーパス駆動型品詞論の方法  鯨井 綾希 (就実大学)	B-2	「せっかく」における〈擬似述語用法〉の成立  許 燕 (名古屋大学)	C-2	漢語「鉛直」の成立と展開  奥山 光 (東京大学学生)	D-2	東京アクセントの尾高型の共時的・通時的分析  中澤 光平 (信州大学)
	15:10   15:50	A-3	BCCWJとCEJCにおける自他对応動詞の使用傾向—自他对応に着目して—  新谷 知佳 (大阪大学)	B-3	タリ・タ形が用いられる連体節とその参照節の時間的關係  末吉 勇貴 (関西大学学生)	C-3	訓読に用いられた平安期和文口語・歌語—「さもあらばあれ」を例として—  中山 大輔 (放送大学学生)	D-3	岐阜県西美濃方言における動詞否定辞ン・ヘンの使い分け—人称制限と意志性に注目して—  Molarius Milla (大阪大学学生)
休憩 (20分)									
司会(補助)		堤 良一 (太田 陽子)		久保蘭 愛 (坂井 美日)		佐伯 暁子 (鴻野 知暁)		小川 晋史 (中川 奈津子)	
セッション2	16:10   16:50	A-4	文末名詞文「気だ」の構文としての意味—「観察」という文法概念の精緻化に向けて—  阿久澤 弘陽 (京都大学)	B-4	古代語における「まし」「べし」「ましじ」の關係について  古川 大悟 (九州大学)	C-4	「候体語」について  山本 久 (東京大学学生)	D-4	鳥取県倉吉方言における理由の接続助詞「ケー」の終助詞化  阪上 健夫 (東京大学学生)
	17:00   17:40	A-5	いわゆる〈有対動詞〉における下一段活用動詞の可能動詞化について  浅川 哲也 (東京都立大学)	B-5	ラレ構文「行はる」の変遷—主催・尊敬から非情主語受身へ—  志波 彩子 (名古屋大学)	C-5	享保十三年写「ハニヤシ行ノホジ」に見える空点の用法をめぐって—洋野町種市に伝存する修験道文献の表記一斑—  米谷 隆史 (熊本県立大学)	D-5	ヴァーチャル方言の出現要因—テレビドラマ『エール』の実証的分析を通して—  佐藤 未依奈 (東北大学学生)
休憩 (20分)									
豊田講堂 シンポジオン									
懇親会 司会：矢田 勉									
18:00									

# 5月11日(日)

ワークショップ		A会場 (全学教育棟 C-13)	B会場 (全学教育棟 C-15)	C会場 (全学教育棟 C-23)	D会場 (全学教育棟 C-25)			
	会場担当	庵 功雄	池上 尚	幸松 英恵	矢田 勉			
	9:30   11:00	<b>ワークショップ1</b> 介護用語の見直しを目指して 一介護のことばの難解さと 未整理の現状から—  遠藤 織枝 (元文教大学) 黄 海洪 (大阪大学) 吉永 尚 (園田学園大学)	<b>ワークショップ2</b> エゴフォリシティと体験の日本語文法  定延 利之 (京都大学) 鈴木 泰 (東京大学名誉教授) 井上 優 (日本大学)	<b>ワークショップ3</b> ことばの技巧を外から拓く 一会話・物語・マンガにおける言語使用—  甲田 直美 (東北大学) 太田 有紀 (作新学院大学) 藤井 綾希 (就美大学) 出原 健一 (滋賀大学)	<b>ワークショップ4</b> 東北方言のヴォイスから考える 日本語の述語膠着性 一伝統的な国語学と日本語学、 そして理論言語学との交流の視座から—  高橋 英也 (岩手県立大学) 佐々 智将 (岩手県立大学) 江村 健介 (岩手県立大学) 中馬 崇 (一社) やまどり学園			
休憩 (10分)								
ポスター発表・学生セッション (全学教育棟 S12、S13、S14、S15)								
	会場担当	宮澤 太聡	池上 尚	幸松 英恵	田村 早苗			
セ ッ シ ョ ン 4	P-1	生成AIがエッセイでどのような語彙を 使っているのか 一ChatGPTとJASの母語話者産出 データの比較を通して—  麻 子軒 (京都外国語大学)	P-3	山東直低『新撰山東玉篇 英語挿入』に における漢音・吳音について  中澤 信幸 (山形大学) 石山 裕慈 (神戸大学) 岩城 裕之 (高知大学) 加藤 大鶴 (早稲田大学)	P-5	機械学習を用いた異なるシソーラスに 対する効果検証および評価 一機能表現の使い分けタスクを 中心にした分析—  陳 柏丞 (総合研究大学院大学学生)	P-7	「現代日本語書き言葉均衡コーパス」の 拡張とその設計  山崎 誠 (国立国語研究所) 高橋 雄太 (国立国語研究所) 小木曾 智信 (国立国語研究所)
	P-2	外国語により記述された 日本語研究の動向 一『日本語研究・日本語教育文献 データベース』を基に—  今村 志紀 (国立国語研究所) 高田 智和 (国立国語研究所) 石黒 圭 (国立国語研究所)	P-4	日本語日常会話コーパスに見られる 談話標識「いや」の使用実態 一話者の社会的属性と出現位置に 着目して—  彭 津 (東京外国語大学学生)	P-6	人物を表す「文の包摂」の 形式的・意味的な特徴 一「かまってちゃん」「相方どうかして るぜ芸人」「やだやだ星人」—  泉 大輔 (立教大学)	P-8	新型コロナウイルス感染症の関連用語に 対する社会的許容度の短期継続調査  朝日 祥之 (国立国語研究所) 相澤 正夫 (国立国語研究所) 石橋 拳 (専修大学) 久屋 愛実 (立命館大学) 久野 雅樹 (電気通信大学) 田中 牧郎 (明治大学) 田中 祐輔 (筑波大学) 前田 忠彦 (統計数理研究所) 鎌水 兼貴 (国立国語研究所) 横山 詔一 (国立国語研究所)
	G-1	類義語の分類に関する研究 一『分類語彙表』の段落を例に—  大下 由乃 (立教大学学生)	G-3	人はなぜ概数表現を好むか  張 琴琴 (北海道大学学生)	G-5	受身文における主語指向 (感情) 副詞  Santosa Kurniawan (大阪大学学生)	G-7	形容詞述語文のテンス形式と その解釈について  蕭 暄 (一橋大学学生)
	G-2	ハの使用から見た和文・訓読文・変体漢 文の文体差 一説話集を中心とした—  小玉 花菜 (北海道大学学生)	G-4	品詞構成率と文章の特性との対応に 関する批判的検討  佐藤 龍弥 (筑波大学学生)	G-6	小説の地の文における 「のだった」について  藤本 莉穂 (大阪大学学生)	G-8	日本語受身文における 動作主マーカーについての記述的研究 一カラ格を中心に—  李 曼彦 (名古屋大学学生)
フリータイム (15分)								
休憩 (45分)								
会員総会・大会式典								
会場		豊田講堂 ホール						
司会		会員総会：川瀬 卓 大会式典：高木 千恵						
13:10   13:50		会員総会 大会式典 会長挨拶 日本語学会会長 木部 暢子 会場校挨拶 名古屋大学副総長 佐久間淳一 学会賞授賞式						
休憩 (10分)								
シンポジウム								
会場 担当		豊田講堂 ホール 苅宿 紀子, 鴻野 知暁						
セ ッ シ ョ ン 5	14:00   17:00	<b>シンポジウム</b> <b>「会話文」とは何か</b> なぜ「会話文」が問われるのか？ 半沢 幹一 (共立女子大学名誉教授) 会話と「会話文」一小説の会話文の相対化をめざして— 高崎 みどり (お茶の水女子大学名誉教授) 話法の連続性からみる地の文と「会話文」一文学作品と新聞記事の比較をもとに— 松木 正恵 (早稲田大学)						
	14:00   17:00	企画担当 苅宿 紀子 (和光大学) 鴻野 知暁 (大阪大学)						
談話室		9:30-17:00 談話室						
書籍展示ブース		11:00-13:00 書籍展示						

## 大会実行委員

会場校 齋藤文俊 (大会実行委員長), 宮地朝子 (副委員長), 志波彩子, 杉村泰, 李乃琦

大会企画運営委員会 高木千恵 (委員長), 庵功雄 (副委員長), 矢田勉 (副委員長), 池上尚, 太田陽子, 小川晋史, 苅宿紀子, 久保蘭愛,

鴻野知暁, 佐伯暁子, 坂井美日, 田村早苗, 堤良一, 中川奈津子, 宮澤太聡 (委員長補佐), 森勇太 (委員長補佐), 幸松英恵

事務局委員会 川瀬卓 (事務局長), 富岡宏太, 野間純平

広報委員会 市村太郎, 村山美和子